

ART in EDUCATION

豊かな情操と想像力をはぐくむ

教育美術®

2017 Feb. No.896

2

特集 第76回全国教育美術展 作品集 ～子どもたちの学びから生まれた絵～



展覧会・テレビ放送の予定

ほくの絵わたしの絵展 — 第76回全国教育美術展 —

東京での開催

2月21日(火)～3月5日(日)

午前10時～午後6時 入場5時半まで(最終日4時終了)

会場/東京都渋谷区神南 2-2-1

NHK 放送センター内 NHK みんなの広場ふれあいホールギャラリー

全国の特選作品の中から全国審査員の選定する作品(109点※月刊「教育美術」2月号掲載)の他、全国学校賞受賞校の特選作品の一部、東京都・海外日本人学校の特選作品を展示します。

全国各地での開催

東京での開催後、全国各地のNHK放送局内ギャラリー等でも開催の予定です。日程は、決まり次第「教育美術」誌面および公益財団法人教育美術振興会ホームページにてご案内いたします。詳細は、お近くのNHKまでお問合せください。

※各地区の特選を中心に展示します。

当会ホームページ <http://www.kyoubi.or.jp>

NHK全国放送(Eテレ)

〈番組名〉ほくの絵わたしの絵 — 第76回全国教育美術展から —

特選作品の一部を紹介しながら、「子どもの絵の魅力」をお伝えします。

放送予定: 2月18日(土) NHK Eテレ 午後3時～3時30分

出演: 山本文彦(筑波大学名誉教授・公益財団法人教育美術振興会理事)、他

※放送予定は変更になることがあります。

第76回全国教育美術展

応募状況	地区学校賞	教育委員会賞	教育美術奨励賞
応募校数	2千619校	135校	55校
応募点数	11万7千194点		
全国学校賞	個人賞		
内閣総理大臣賞	特選	2千023点	
文部科学大臣賞	入選	9千324点	
教育美術振興会名誉会長賞	佳作	6千707点	
日本放送協会会長賞			

審査方法

全国審査員(50音順・敬称略)

山本 文彦	宮越 千佳	松山 明	松元 由美子	堀井 武彦	鈴木 美晴	平田 智久	東良 雅人	林 慧二	三川 信一	渡邊 優子	郡司 明子	清原 知二	岡田 京子	大坪 圭輔	大石 正文	石丸 良成	井川 精一
(筑波大学名誉教授)	(徳島県立徳島南中学校教諭)	(大阪芸術大学講師、日本教育美術連盟理事長)	(奈良県奈良市田原小中学校校長)	(奈良県奈良市田原小中学校校長)	(奈良県奈良市田原小中学校校長)	(奈良県奈良市田原小中学校校長)	(奈良県奈良市田原小中学校校長)	(奈良県奈良市田原小中学校校長)	(奈良県奈良市田原小中学校校長)	(奈良県奈良市田原小中学校校長)	(奈良県奈良市田原小中学校校長)	(奈良県奈良市田原小中学校校長)	(奈良県奈良市田原小中学校校長)	(奈良県奈良市田原小中学校校長)	(奈良県奈良市田原小中学校校長)	(奈良県奈良市田原小中学校校長)	(奈良県奈良市田原小中学校校長)

全国教育美術展は、地区審査と全国審査の2本立て審査の方法をとっています。

地区審査

地区審査は、各都道府県並びに指定都市単位に審査を行い、個人賞(特選・入選・佳作)を選ぶとともに、優れた学校、幼稚園・保育所・認定こども園を対象に各都道府県並びに指定都市(後援)の教育委員会賞(学校賞)を決定します。なお、地区で選ばれた特選は、全国審査で選ばれた特選と同等のものとして扱われます。

また、前回(昨年度)教育委員会賞を受け今回(今年度)もまた、優れた成績をおさめた学校、幼稚園・保育所・認定こども園には、教育美術奨励賞が贈られることがあります。

全国審査

地区審査において選ばれた入選を対象に審査を行い、その中から、さらに特選(個人賞)を選ぶとともに、優れた学校、幼稚園を対象に内閣総理大臣賞、文部科学大臣賞、教育美術振興会名誉会長賞、日本放送協会会長賞等の学校賞を決定します。また、優れた成績をおさめた学校、園には教育美術特賞が贈られることがあります。

全国教育美術展の歩み

全国教育美術展は、国内では最も伝統のある子どもの絵の展覧会です。

大正11(1922)年に全国図画展として始まってから、常に健全な美術教育の発展に役立つことを願い隔年に開催してきました。

昭和16(1941)年、第10回展の募集を発表しましたが、太平洋戦争のために開催できず、その後9年間、空白の時代が続きました。

昭和25(1950)年、教育美術振興会の機関誌「教育美術」の復刊記念事業として再開し、戦前の隔年募集を毎年に変更しました。

昭和42(1967)年、NHK全国図画コンクールが第10回をもって終了したことにより、第28回展(昭和43年度)からはNHKの放送協力等を得て再出発しました。これを機に、それまでの全国の作品を一箇所に集めて行う審査方法を改めて、地区の事情を考慮した都道府県・指定都市を単位とする地区募集・審査制を取り入れました。同時に各都道府県・指定都市教育委員会の後援を得て、優秀な成績をおさめた学校に教育委員会賞を設けることになりました。

第13回展(昭和27年度)から、文部省(現文部科学省)の後援を得て、優秀な成績をおさめた学校に文部大臣賞(現文部科学大臣賞)、第14回展(昭和28年度)から高松宮殿下賞、さらに第29回展(昭和44年度)から第39回展まで、最優秀の成績をおさめた学校に高松宮殿下賞、同幼稚園・保育所に高松宮妃殿下賞を贈りました。

そして、このたび第76回展より優秀な成績をおさめた小・中学校および幼稚園・保育所・認定こども園に内閣総理大臣賞を贈ることにいたしました。

岡山県三宝認定子ども園

本園は「感性豊かな子どもを育てる」という保育方針のもと、年齢発達に合わせたその時期夢中になれる遊びの環境を工夫しています。未就児の頃は物との出会いを大切に、幼児期にはさらに主体的に遊べるよう年数回の「造形天国」を行っています。園庭いっぱい、の段ボール箱に目を輝かせながら積んだり並べたり、それがやがて「船」になり、「恐竜ランド」になり。一人一人がイメージを膨らませ夢中になって遊ぶ毎日。心弾む遊びの体験を重ね、自分の思いを生き生きと表現できるようにしてきました。これからは保育者自身の感性を磨き、子どもたちが「瑞々しい心」を持ち、人として豊かにたくましく生きる力を身につけていってほしいと思います。

理事長 新見歩久



ぞうさんのお鼻からお水がいっぱいだよ！
年中 大島 祥 指導者/池口 美佐子

兵庫県神戸市立五位の池小学校

本校では毎年、国工専科と担任教師が「丸」となり全校描画会期間に取り組んでいます。子どもが「こんな風に描きたい」という自分の思いに心を動かして表現することを大切にしています。そのためには、多様な表現が見込めるテーマを選ぶことが重要です。また、制作メモをやりとりすることで子どもの思いを汲み取り、描きたいことを引き出しています。毎年のこうした積み重ねが、「子どもの声が聞こえてくる絵」になり、その良さは、子どもや職員にも浸透しています。いっばい心を動かして、表現する。この貴重な経験は、子どもたちがこれから生きていく上で大きな糧となると信じています。

教諭 香山美奈子



沖波ヘレツゴー！
3年 汐先 真風 指導者/香山 美奈子・中矢 優貴

愛媛県伊方町立伊方中学校

「生徒は生徒」これが本校美術指導のコンセプトです。数年前から授業に遊びの要素を取り入れるなどして、教師主導から生徒主体へと指導方針の転換を図ってきました。たとえば、「おしゃべり鑑賞」「落書きスケッチ」などがそれです。陸上士で自由にアドバイスし合ったり、いつでも消去可能なミニスケッチを認めたりすることで、生徒の思考や活動の流れに沿った無理のない授業展開へとつなげることができました。この絵画展に人選した作品もこのような環境の中で生まれたものです。今後も、誰もが安心してのびのびと表現できる環境づくりに努め、創造活動の楽しさを広く伝えていきたいと思います。

教諭 井上修



3年 吉本 涼乃 指導者/井上 修

滋賀県彦根市立城北幼稚園

本園から彦根城が見え、田園や琵琶湖が広がるのどかな地域の中で、子どもたちが伸び伸びと園生活を過ごしています。チーム城北を合言葉に「もっと遊びたい」「一緒に遊ぼう」の声を聞かせるように環境づくりや支援の在り方を探っています。絵画活動では、子どもたちが感じたこと、イメージしたこと、感動したことなどを様々な方法で表現したり思いを引き出したりできるような環境づくりや体験を大事に取り組んでいます。そして、子どもが生き生き表現する姿やつづがやきを丁寧に受け止めるかわりの積み重ねが、伸び伸びと表現できる子どもの力につながっていくと信じ、今後も造形活動に取り組んでいきたいと思っています。

教諭 鹿取 真夕子



せりんさん かわいいね
年中 太田 笑空 指導者/鹿取 真夕子

兵庫県加西市立北条小学校

園工が大好きな子どもたち。園工を大切にする教職員。園工にも協力的な保護者や地域。これらの土壌が本校にはあります。まず、授業の前に教師がねらいを明確に持ち、子どもたちへの環境を十分に整えてやることを大切にしています。そして、子どもたちに素材や題材に関わらせたり、選ばせたりする時間をたっぷりとることが肝要だと思います。そこから子どもたちはたくさん気づきをし、友達と関わり合い、表現していきます。ある子が、授業のふり返りで言いました。「〇〇さんの絵は〇〇さんらしくていいな」と思いました。その子らしい表現ができるようにこれからも励んでいきたいと思っています。

教諭 柏原 清人



みんなのうしろけんびきよう遊園地
4年 高井 智弘 指導者/柏原 清人

愛知県豊橋市立南部中学校

全国教育美術展への出品作品制作は、主に本校美術部員が、年間活動における最大の目標として掲げています。特に3年生にとって、3年間の活動の集大成として、とても大きな位置づけになっています。部員たちは仲がよく、活動中は、先輩や後輩の垣根を越えて、互いに作品のよい点や改良点などについて意見を言い合い、子どもたち同士で切磋琢磨する姿が見られます。今回の受賞は、まさに、校訓である「ONE FOR ALL, ALL FOR ONE」一人はみんなのためにみんなは一人のために「が具現化された結果であると思います。今後も、子どもたちの意欲や可能性を大切にしたい指導者を心がけていきます。

教諭 近藤 亘



小さな秋
3年 梶原 真奈 指導者/近藤 亘

埼玉県第二ひつじ幼稚園

本園は、一人一人に寄り添った保育を心掛けています。絵画や造形活動においても子どもたちが今、何に興味を持ち、何を表現したいのか、その思いをくみ取り、自由に伸び伸びと表すことが出来るような言葉掛けや援助を行うようにし、時にはクラス担任の枠を越え、全教諭が色々なクラスの子の指導にあたることで、より一層創作意欲を引き出せるような保育に努めています。

絵を描いている時の子どもたちはみんな一生懸命で、自分の思いや経験したことをあれこれ語り合い、とても楽しそうです。これからは子どもたちの思いを大切に、個性豊かな作品づくりに取り組んでいきたいです。

教諭 月吉 章子



こんなピアノひいてみたい
年長 森田 奈乃羽 指導者/齊藤 千尋

福岡県福岡雙葉小学校

本校はカトリックの幼小中高一貫の女子校です。グローバルシティズンの育成を掲げ、地球社会の一員としての自覚を持ち、広い視野で行動できる力を持った児童を育てたいと考えています。

図画工作の時間では、専科制を生かし、一人一人の個性や発達に合わせ、6年間というスパンでその成長を支えています。思考する場面と鑑賞活動を大切にしたい学習計画を取り入れ、言語化を促すことで、児童自身が自分の良さを意識しながら表現活動に取り組めるようにしています。自分の作品を生徒大事にする心が育つことを望んでいます。

教諭 山本 晋



光るユーフォニウム
6年 廣田 明美 指導者/山本 晋

佐賀県立武雄青陵中学校

本校は県内に4校ある中高一貫の県立学校で、県民の期待を背に、同郷社会の発展に寄与できる人間性豊かな人材を育成することを目標としています。特にICT教育には力を注いでおり、生徒全員に貸与されたタブレット型パソコンを活用した授業実践に、すべての教科で取り組んでいます。

美術科においても、色面構成の配色や生徒の手による鑑賞資料の制作など、深化と効率化には大いに役立っています。ただ、やはり自分の頭で考え、自分の手を動かして、自分の思いを伝えるという行為は簡略化できず、基礎をしっかりと理解させ、制作に十分な時間をかけるということは大切に行っています。

教諭 浦郷 寿



私の近所
1年 林田 明莉 指導者/浦郷 寿

和歌山県岩出市立上岩出保育所

和歌山県の北部に位置するわが保育所は、季節が身近に感じられる緑豊かな地域です。自然物を使って遊ぶものをつくりたり、楽しかった思い出や創造の世界などを絵で表現しています。一人一人の子どもの思いや言葉がたくさん聞こえてくる作品になるよう子どもの話に耳を傾け、すてきなところを認め、楽しさやおもしろさが味わえるような援助を心がけています。また紙いっぱいに丁寧にしかも素直に描くことができる子どもの感性に触れることができうれしい限りです。

これからも子どもと一緒に活動を喜び、笑顔あふれる保育士でありたいと思います。

教諭 小橋 典世



あめがいっぱいふってきたよ
年長 大河内 惇史 指導者/小橋 典世

滋賀県草津市立笠縫東小学校

本校は、豊かな絵画表現を核とした学校づくりを進めています。伝統ある取組のひとつに、30年以上前から続いている絵画展「東っ子作品展」があります。年3回全校児童の作品（1学期は生活画、2学期はお話の絵、3学期は版画作品）を廊下に展示し、児童だけではなく保護者や地域の方々にも鑑賞していただいています。「こんな絵が描きたい」「頑張っているなあ」児童は、作品を鑑賞したり憧れや賞賛の思いを手紙等で伝えたりしながら、次の作品へのイメージを膨らませます。自分が表したいものを自信を持って色や形に表現する力、お互いの良さに気づき伝え合う力をこれから育んでいきたいと思っています。

教諭 松井 しのぶ



からふるなかも
1年 吉田 奈保 指導者/西村 佳奈

茨城県茨城町立明光中学校

一人一人の生徒が表現する喜びを味わい、美を感じ取る心をくみくむことを目標に、日々授業を進めています。特に、1年生の1学期は、図画工作科から美術科へのスムーズな接続を意識し題材を設定しています。水彩技法や形のとりえ方など、スモールステップで表現の幅を広げ、学習したことを発展したり、補充したりしながら一つの作品にまとめ、構成していくようにしています。

校内ギャラリーに展示された生徒作品は、きらきらと輝きを放ち、学校を明るくします。友だち同士の相互鑑賞から家族や地域へと、思いを伝える場を広げながら、これからも生徒と共に美術を楽しんでいきたいと考えています。

教諭 角谷 由美



これまでとこれから
1年 飯村 咲良 指導者/角谷 由美

特集 第76回全国教育美術展 作品集

～子どもたちの学びから生まれた絵～



ごあいさつ

当会が毎年主催する全国教育美術展は76回目となりました。そして今回より、優れた学校・園を表彰する全国学校賞として、新しく「内閣総理大臣賞」が加わりました。教育美術振興会は全国教育美術展を通して、近年急速に進む人口構造の変化や生活のIT化などに伴い、今後益々重要となりつつある「子どもたちの情操教育」の発展に寄与してまいります。

全国教育美術展は造形美術による教育活動に主眼を置いた教育のための美術展です。その運営には全国56地区の教育現場から約300名の運営委員が携わるほか、官民様々な分野からの協力により成り立っています。

本展が推奨する「教室の学習から生まれた子どもの創造的な作品」には、今の子どもたちが、これからの社会を生き抜くために必要な表現や鑑賞の力、コミュニケーションの力に溢れています。その意味においても本展が子どもたちの未来のため、今後も継続・発展していくことを願って止みません。

第76回全国教育美術展開催にあたり、ご後援をいただきました文部科学省、各都道府県・指定都市教育委員会、NHK、さらに各地区・全国の審査にあたられました先生方、造形美術教育の関係者に改めて深い感謝の意を表します。

公益財団法人 教育美術振興会

「ごあいさつ」の上にある画像は彫刻家の淀井敏夫さん(2001年文化勲章受賞)の作品です。全国学校賞受賞校・園に贈られる盾に刻まれます。

- | | |
|----------------------------------|---------------------------------|
| ● 全国教育美術展の歩み・集計結果 2 | ● 全国審査員からひとこと 68 |
| ● 全国・地区学校賞 受賞校一覧 4 | 井川 精一、石丸 良成、大石 正文、大坪 圭輔、岡田 京子、 |
| ● 全国学校賞受賞校紹介 6 | 清原 知二、郡司 明子、瀧澤 優子、玉川 信一、林 耕二、 |
| ● 第76回 全国教育美術展 作品集 11 | 東良 雅人、平田 智久、船木 英明、堀井 武彦、松元 由美子、 |
| ● 全国56地区・海外日本人学校の審査 66 | 松山 明、宮越 千佳、山本文彦 |
| | ● 特選者名簿 72 |